

# 2016年度駿河台大学公開講座

いろどり

# 彩・ふるさとと喜樂学

きらくがく

共催：飯能市教育委員会・入間市教育委員会・日高市教育委員会 後援：所沢市教育委員会

■2016年度の『彩・ふるさとと喜樂学』(前期)は、【埼玉西部地区の歴史】、【地域の情報発信】、【飯能と観光】の3つのテーマをとりあげます。地域にゆかりのある「もの」や「こと」についてバラエティに富んだお話が聴けることでしょう。

前期初回はNHK大河ドラマ「真田丸」の時代考証を務める、黒田基樹法学部教授による基調講演も大きな見どころ・聴きどころとなっております。

## 講座案内

日程

4/16～6/11 前期7回【土曜日開催】

各回の詳細は、3ページ以降をご覧ください。

時間

11:00～12:30 受付は10:30頃から開始します。

受付開始前にご来場の場合、受付が始まるまでお待ちいただくこととなりますので予めご了承ください。

費用

(資料代) 前期(全7回分)2,000円

※1回のみ受講も可能ですが、費用は各期とも一律2,000円です。

締切

4/11(月) 申込方法は8ページをご覧ください。

注意事項

本講座は各期に新規にお申し込みが必要です。以前に本講座を受講した方も、春の講座の受講に際しては申し込みをしてください。  
申し込み後に、確認の案内や受講証等の発送はありません。受講日になりましたら大学にお越しください。  
講座を受講された方には講座修了後に修了証書を発行します。

## 「彩・ふるさとと喜樂学」講座一覧(前期)

基調講演	4月16日	大河ドラマ「真田丸」の楽しみ方 —時代考証担当の目から—	くろだ もとき 黒田 基樹	駿河台大学法学部教授
埼玉西部地区 の歴史	4月23日	谷戸(やと)のある生活～狭山丘陵 における人と自然との関わり～	かどうち まさひろ 門内 政広	文化財保存全国協議会会員
	4月30日	高麗家文書を読む —江戸時代の高麗神社—	よこた みのり 横田 稔	高麗神社主任学芸員
地域の 情報発信	5月7日	地域の情報化について	もんま さちお 門馬 幸夫	駿河台大学心理学部教授
	5月14日	いるま生涯学習フェスティバル からの発信	やまます ともこ 山増 智子	入間市生涯学習をすすめる 市民の会
飯能と観光	6月4日	私が思う飯能観光の姿	ふくなが あきら 福永 昭	駿河台大学現代文化学部教授
	6月11日	森林文化都市飯能のめざすべき 観光の方向性を考える	かしわぎ まさゆき 柏木 正之	飯能市観光協会会長

基調講演	4/16 田	大河ドラマ「真田丸」の楽しみ方 一時代考証担当の目から一	くろだ もとま 黒田 基樹	駿河台大学法学部教授
	講師からの一言	今年のNHK大河ドラマ「真田丸」は、これまでの戦国もの大河ドラマと比べても、随所に新しい試みが織り込まれています。ここではそうした事柄をいくつか取り上げて、解説したいと思います。これによってドラマをさらに楽しむことができることになるでしょう。		
埼玉西部地区の歴史	4/23 田	谷戸(やと)のある生活～狭山丘陵に おける人と自然との関わり～	かどうち まさひろ 門内 政広	文化財保存全国協議会会員
	講師からの一言	埼玉県南部に独立丘陵として位置する珍しい地形の狭山丘陵。今回の講義ではその狭山丘陵を事例としながら、人と自然との関わりの中で生まれた先人たちの知恵に目を向け、歴史の魅力を再発見することを目的とします。		
	4/30 田	高麗家文書を読む 一江戸時代の高麗神社一	よこた みゆる 横田 稔	高麗神社主任学芸員
講師からの一言	私が高麗家文書の解読を始めて20年余になります。関連史料の所在調査が進んでいません。史料所在の情報をお持ちの方は、ぜひ御教示下さい。			
地域の情報発信	5/7 田	地域の情報化について	もんま さちお 門馬 幸夫	駿河台大学心理学部教授
	講師からの一言	情報化はむしろグローバルであるが、広域的に展開される情報化ではなく、ここでは具体的な「地域にとっての情報化とは何か」をめぐって、その政策や状況、課題などを探る話を紹介します。		
飯能と観光	5/14 田	いるま生涯学習フェスティバル からの発信	やまます ともこ 山増 智子	入間市生涯学習をすすめる市民の会
	講師からの一言	市民活動として、NPO法人あそびあ〜と☆こども劇場いるま、市民の会、子育て情報発信隊などに参画。市民と行政との各種協働に参画。デイサービス等で講師として臨床美術を実施しています。		
飯能と観光	6/4 田	私が思う飯能観光の姿	ふくなが あきら 福永 昭	駿河台大学現代文化学部教授
	講師からの一言	バンコクや由布院温泉を飯能と見比べながら、飯能の暮らしがいかに豊かなものであるか、再確認したいと思います。そして、もっともっと飯能を上質な観光地にするためにはどうしたらよいか、私の考えを聞いてください。		
講師からの一言	観光関係の仕事をして20年、大学で25年が過ぎました。そのうち、最近の10年は飯能の暮らしを楽しんでいます。			
6/11 田	森林文化都市飯能のめざすべき 観光の方向性を考える	かしわぎ まさゆき 柏木 正之	飯能市観光協会会長	
講師からの一言	観光立国を目指す我が国の地方創生戦略の中で、飯能の観光はどうあるべきか。飯能市における産業としての観光の目指すべき方向とその可能性を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。			
講師からの一言	飯能市下名栗生まれ。25才の時に家業の旅館を継承。平成10年から旧名栗村村長を務め、飯能市との合併に取組む。現在は(有)名栗温泉(大松閣)会長、飯能市観光協会会長。			

(敬称略。講師の職名、テーマは2016年2月現在)